

は多岐にわたります。会社の原点である有料老人ホームのリハビリ室委託は社員の作業療法士とアルバイトに任せていますが週に2回は顔を出します。その他美容学校の山野短大で週イチ講義をしています。また身体障害者施設では理事長に頼まれ理学療法士として個人的に活動しています。また不定期に研修会がありその資料作りに追われます。ルースト北野の夜を利用した一般人向けのコンデショニングルームは週2回担当。それだけではありません。会社の経理も労務管理も全て自分でやっているといいますから多忙を極めます。自分で給与計算し給与は手渡しをモットーとしています。

◆3つのデイサービス

八王子は都のベッドタウンとして栄え今猛スピードで高齢化が進んでいます。そしてルースト直営の3つのデイも車で15分以内の所に集中しています。今年の2月、2つめのデイ「下柚木」をオープンさせたところ、4か月で定員の8割が埋まるという繁盛ぶりでした。そこでもう1軒片倉に物件を見つけ9月にオープンしたばかりですが2カ月で定員の7割が埋まるという驚異的な快進撃を続けています。それというのもこの3軒はそれぞれコンセプトを違え異なる特徴を持たせているのです。まず1号店の「ルースト北野」は筋トレマシーン中心。機能訓練はジムの感じです。2号店の「ルースト下柚木」はもとコンビニ店舗。病院のリハビリ室をイメージし、筋トレマシンは置いていません。北野のマシンを見て「私、出来ません」という利用者さんはこちらを勧めることとなります。ベッド上で直接体を触つ

てのマンツーマンのストレッチがメインとなります。3号店の「ルースト片倉」は下柚木と北野の中間タイプ。グループ分けしてベッド体操組とマシーン組それぞれに機能訓練を行います。ここは元ペットショップで長い廊下を持ち直線20メートルの歩行訓練が可能です。そして単純にして意外な特徴は3か所とも靴を履き替えないこと。靴の履き替えリスクを避けているのです。これら3つのデイサービスは社員を抜擢して運営を任せています。それがスタッフのやる気にもつながっているようです。

◆経営について

平成19年2月に1号店を立ち上げて半年は利用者さんは30人に満たなかったといいます。ルーストも最初は苦戦したのです。誰からもアドバイスはなく備品も新品を揃えけっこう無駄なお金を使ってしまいました。

1800万の開設資金は銀行や金融公庫の融資や八王子市の新規事業融資枠などを使いました。自分の給料は会社からは出さずに他の個人的な仕事の給与をあてていました。家賃は北野が42万。下柚木23万、片倉35万と合計100万円になります。今は片倉をオープンしたばかりで資金繰りの一番厳しい時期ですが2ヶ月たった今月から入金予定なので見通しは明るいと言います。年商はトータル7000万円。来年度は1億円超を見込んでいます。人件比率は60%。10人定員の場合本来スタッフ数は3人でいいのだけれど5人と手厚く。職員の給与も最低で21万を確保し、ボーナスも今は我慢してもらっていますが来年は是非出したいと考えています。



ベッド体操、グループに分かれて



貴重な20メートル廊下

◆今後について

片倉の建物が随分広いスペースなので、ゆくゆくは定員を30人規模にする計画です。それでも余裕があるので玄関フロアを間仕切りし接骨院かあるいは美容院を併設したいと考えています。接骨院が有力ですが何故美容院も候補に挙がるかというと今井さんが講師をしている山野短大では生徒に美容師と介護福祉士の2つの資格を取らせているから。要介護者のための美容院は需要があると見込んでいます。その他、他業種のデイサービスへの開業支援。幼稚園と組んで、子どもの運動能力向上のためのノウハウの提供などやりたいことは山のようにあります。事業の拡大はスタッフの働き甲斐と将来の展望にもつながります。4年目を迎えたルースト。ただ今発展途上です。